

広報 おおの



大野ええとこ

空からみた越前大野城

	ページ
亀山周辺整備の基本計画 ...	2 ~ 7
真名川水辺の楽校.....	8
市の人事異動.....	9
市民のページ.....	10 ~ 11
お知らせ.....	14 ~ 15

平成14年(2002年)

5月号

680

古紙配合率100%再生紙を使用しています

亀山周辺整備の基本計画策定

まちづくりの夢と 希望にあふれた空間へ



これまで長い時間をかけ議論を重ねてきた亀山周辺の整備。今回は、その亀山周辺をまちづくりの夢と希望に満ちた空間にし、市全体の活性化を図るために策定した「亀山周辺整備基本計画」の概要を紹介します。

これまでの議論から

- ・ 亀山周辺の整備について、これまでさまざまな議論が行われてきました。
- ・ 平成九年に行われた大野市都市マスタープランの策定委員会では、大野高校跡地は将来の市街地活性化の拠点として活用
- ・ 市街地と国道を結ぶ西部アクセス道路は必要
- ・ 有終西小学校は現在地のなるべく近くに建設
- ・ という考え方が示されました。
- ・ 平成十一年にその内容を受けて策定した『亀山周辺整備基本構想』では、『シビックセンター構想』
- ・ 『シビックセンター構想』
- ・ 中心市街地に市民が「集い・遊び・学びあう」文化的サービスや地域コ
- ・ ミニニティーの拠点を整備する
- ・ 有終西小学校を生涯学習などの施設と併設することで、地域に開かれた全国的なモデルとなる学校を目指す
- ・ 施設全体をタイムシェアリング（時間差で共用）することを前提とし、幅広い年齢層の利用を可能とすることで、機能の充実と効率化を図り、高度な文化的・教育的拠点とする
- ・ 『シティーゲート構想』
- ・ 西部アクセスから流入する通過交通を柔らかく受け止めスピードを落とさせることで、城下町の歴史的たたずまいと「歩行者の町」を守る、緩衝帯や滞留スペースとして整備
- ・ 城下町への玄関口として、外来客と市民を結びつけ、心からの「もてなし」を提供する交流・観光の拠点と



して整備
の二つの構想が示されました。

推進会議と懇話会

今回の基本計画は、この基本構想を基に市民参加により行われた「推進会議」と「懇話会」の内容を踏まえて策定しました。

「推進会議」は、一般から公募した

六人を含む市民四十人が参加し、昨年の六月から十一月まで延べ八回にわたり開催されました。少人数のグループに分かれ意見を出し合う「ワークショップ」形式により会議が進められ、その内容は「シビックセンターに関する報告書」と「シティーゲートに関する報告書」の二つにまとめられました。その後、各種団体の代表や学識経験



推進会議の様子

者などの十五人で構成する「懇話会」でこの報告書を検討しました。内容についてほぼ了承し、懇話会としての意見をさらに加え「亀山周辺整備事業に関する報告書」としてまとめました。

市では、これらの内容を基に関係部署による調整を行い、基本計画の内容を次の三つとしました。

- ・シビックセンター基本計画
- ・シティーゲート基本計画
- ・西部アクセス道路計画

集い・遊び・学びあふ拠点に

シビックセンター基本計画

大野高校の跡地に、有終西小学校と市民全体が利用可能な生涯学習センタ

ーや大野公民館の機能を持つ施設を複合的につくる計画です。

学校は普通・特別教室などが一体的な空間となり、子どもたちの個性をはぐくむことを目指します。

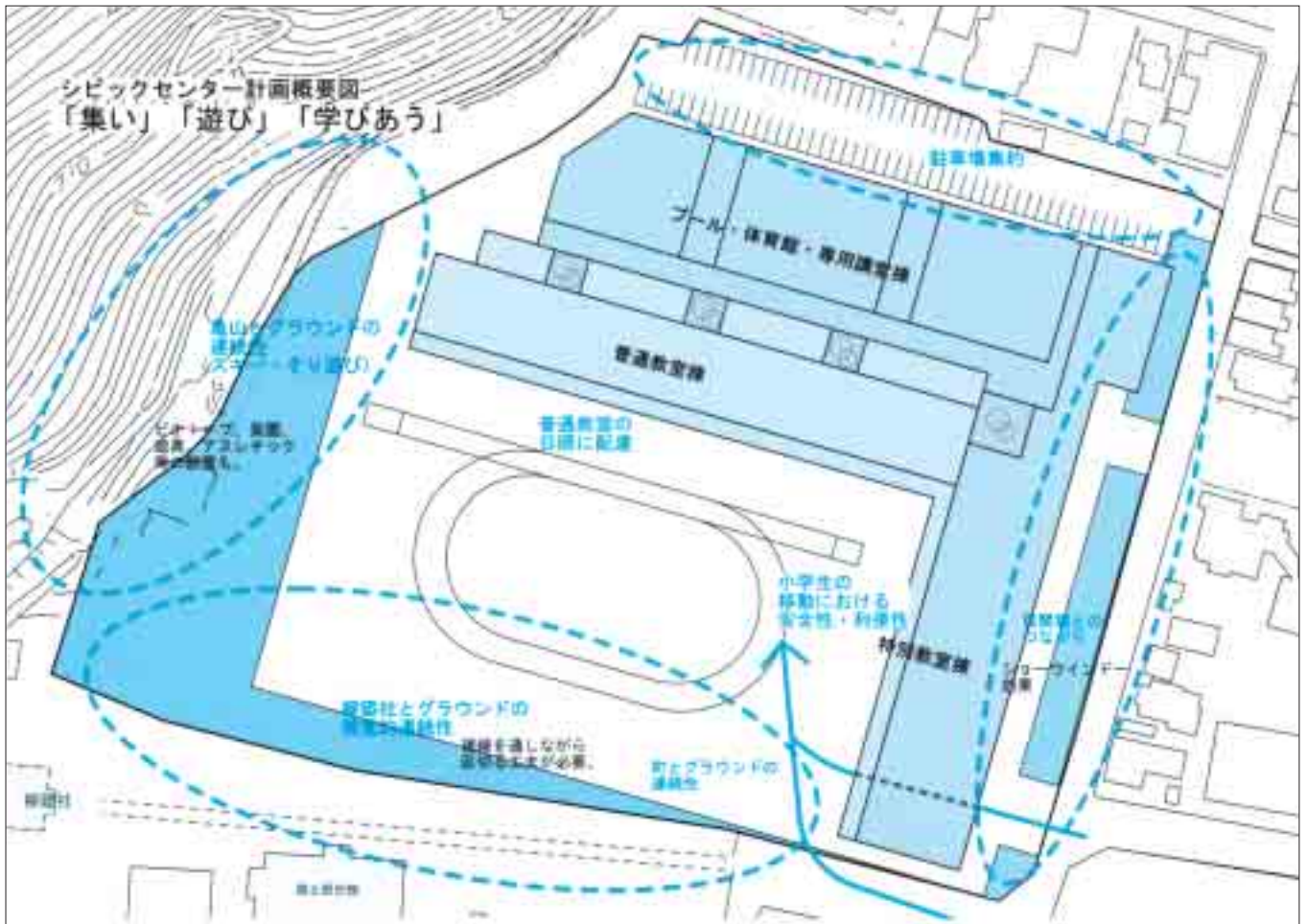
普通教室棟を除く施設は、地域への開放を前提とします。

図書室や特別教室などを小学生が使っていないときに、子どもたちを含めた地域住民のさまざまな学習活動の場として時間差で共用し、幅広い年齢層が活用できるものにします。これは施設が市民全体の生涯学習センターとして、文化・スポーツを含めた高度な生きがい感をはぐくむ「学びの里」の拠点となることを目指すものです。

学校と生涯学習施設が連携することで、施設や設備の高品質を実現し、子どもにも大人にも好ましい総合的な文化・学習環境の充実を図ります。

心配される子どもたちの安全性は最優先の事項と考え、地域の見守りの目をはぐくむと同時に、最適な管理運営を目指します。

これらは「進取の気象」あふれる先人たちの足跡を背景に、今を生きる人たちが「集い・遊び・学びあふ」ための文化の発信地や地域コミュニティの拠点となるものです。市民全体の利用による中心市街地への求心力強化をはじめ、歴史ある城下町に再び魅力をつくることが期待されています。



運営については、施設の持つさまざまな機能が連携し「1+1=2」以上となるような「協働的效果」が発揮されるよう創意工夫を重ねます。施設は、お年寄りや体の不自由な人をはじめ、すべての人が年齢や性別に関係なく利用しやすいデザインとします。

シビックセンターの施設と機能

- シビックセンターは、大きく分けて
- ・普通教室棟：小学校専用の施設
- ・特別教室棟：子どもと大人が時間差で共用
- ・プール・体育館・専用講堂棟：生涯学習センターや大野公民館の機能を持つ子どもと大人が共用する施設の三つから構成されます。

普通教室棟

教室の数は一学年二クラスと考え、六学年で十二クラス。特殊学級と通級指導の教室を加え、全十四教室となります。建物はグラウンドに面し南向きで、平屋建てを基本としたものです。

教室はグラウンドにつながるオープンスペースと隣接し、教職員センター（職員室）をガラスを通して設けることにより、校内の様子を常に見回すことができるなど、子どもたちの安全や教職員の使いやすさを最優先に考えています。

特別教室棟

市街地から亀山が見えるよう、平屋の建物とします。百間堀に面して配置し、活動風景が外から見えるよう透明性を持たせます。小規模の施設でも、個人で所有することが難しい高い水準の設備や機器を備えることで、市民全体から利用されるものにします。

図画・工作など小学校の授業をはじめ、生涯学習センターの自主講座や公民館の文化講座などにも利用できる創作棟（アトリエ）やランチルームなどを備えます。

原則として小学校が利用する時間帯は、児童専用とします。

体育館・プール・専用講堂棟など

敷地の北側に、グラウンドや教室に影を落とさないよう建てる施設は、高さを生かし生涯学習センター機能を集約します。市民と小学生の共用を前提とし、さまざまな目的に対応した、子



どもからお年寄りまで誰もが使いやすい構造とします。

「体育館は、現在の有終西小学校体育館と同程度の広さとし、天井の高さを一般競技に対応した八メートル以上とします。ミーティングルームのほ

かトレーニングルームや交流スペースなども備えます。

屋内プールは、小学生から大人までの水深に対応できるものになります。また、プールとして使わないときに室内スポーツにも使えるよう整備します。

専用講堂（大ホール）は、収容人員が四百人以上の、音響設備を備えたホールになります。多目的に利用できる「平土間形式」を基本とし、収納式の可動座席などを検討しています。

音楽室は、授業のある時間帯は児童専用とし、放課後は市民がコーラスや太鼓の練習などに使えるものとします。

生涯学習センター・大野公民館は、和室や洋室などを備え、勉強会や講習会、講演会などさまざまな会合に対応するものです。

託児機能など小さな子どもを持つ保護者の利用を考える

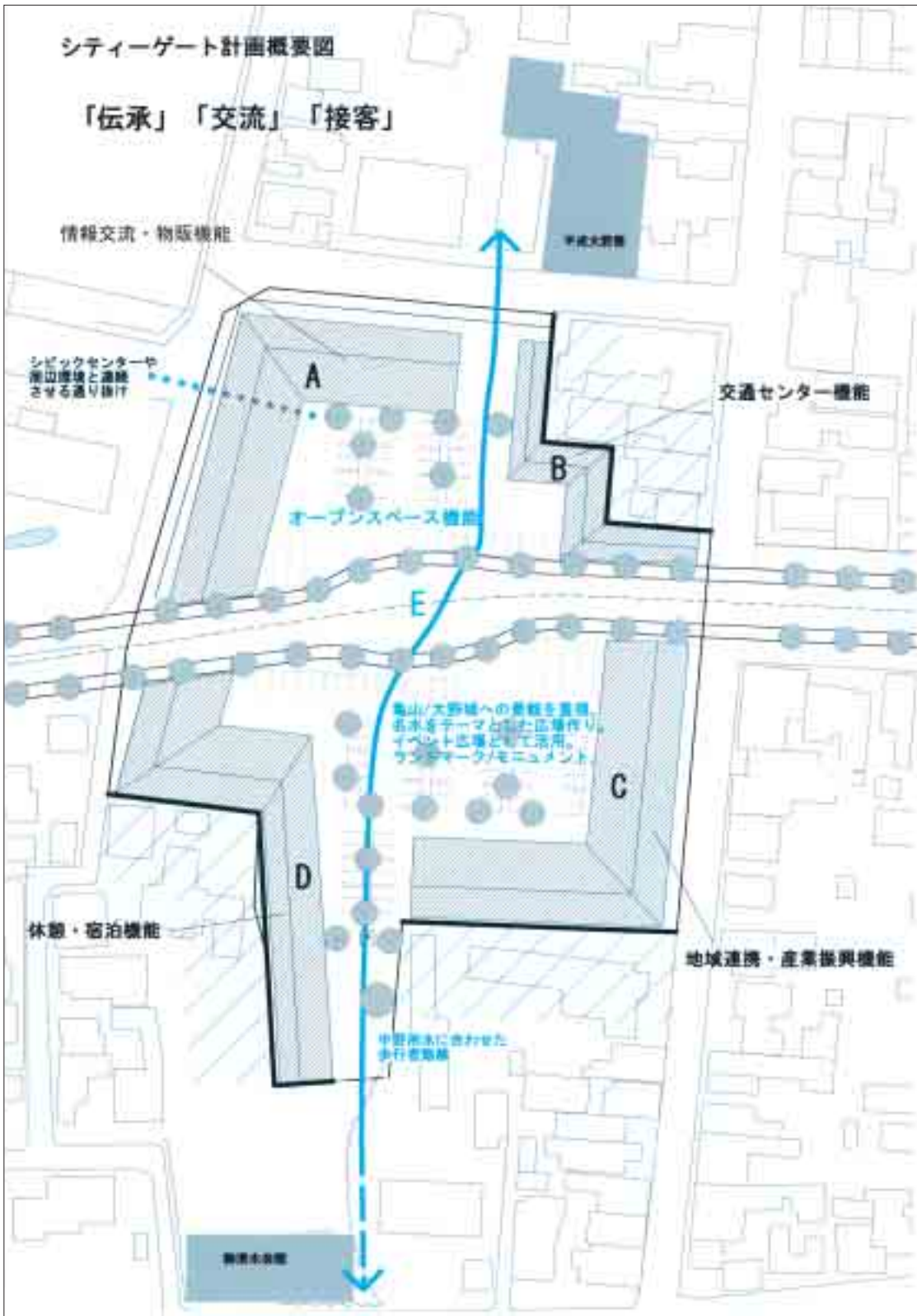
ほか、各種団体が利用できる事務室やボランティアルームなどを設置します。

総額は約三十二億円

シビックセンターの規模を現計画の

「施設：九千七百三十一平方メートル」「屋外グラウンド・駐車場：一万四千五百五十平方メートル」とした場合、事業費は、施設で約二十九億八千万円（平方メートルあたり二十八万円想定）、屋外グラウンド・駐車場で約二億円の約三十二億円を想定しています。財源については、最新の補助内容を把握し、国・県の動向などを十分に見極め、市にとって最も有利な選択を行います。

ド・駐車場で約二億円の約三十二億円を想定しています。財源については、最新の補助内容を把握し、国・県の動向などを十分に見極め、市にとって最も有利な選択を行います。



キーワードは「伝承・交流・接客」

「シティーゲート基本計画」

有終西小学校が大野高校跡地へ移転することにより、市街地に新しく空間が生まれます。

その貴重な都市空間を「心からのもてなし」と回遊性のあるシティーゲートへ」という考えを基に、流入する西部アクセスを柔らかく受け止め、歴史的たたずまいと歩行者の安全を守りながら、外来者と市民を結びつける「交流や観光の拠点」として整備する計画で、小学校の跡地を、通過交通のスピードを制御しながら滞留する交通を弾力的に運用し、歩行者優先とした駐車スペースや交通センター機能を持つ「亀山と大野城を背景とした緑と水を活かした都市の広場」とするものです。

市街地に生まれた貴重な都市空間は



広場として、シビックセンターや周辺環境と連続性・一体感を持たせた施設などで囲みます。

そのことにより広場は、さまざまな目的を持った人が集まる「交流広場」や、祭り・市など多種多様なイベントが開催可能な「都市の庭」など、いろいろな機能を持つものとなります。

広場を囲むのは「伝承・交流・接客」をキーワードにした「情報交流や物販」「交通センター」「休憩や宿泊」「地域連携や産業振興」などの施設です。

これらが回遊的空間として絡み合うことで、外来客と市民とが交流する拠点や外来客をまちなかへと誘う観光の拠点として機能することになります。

シビックセンターを生活に根ざした精神的達成感や充足感など、市民のための内面的・精神的な拠点と考えた場合、シティーゲートは対外的な玄関口や交流拠点として「客をもてなす」ということに重点をおいたものです。

そのためシティーゲートの外面的な構えなどには、シンボル性が求められることとなります。外観を当市の魅力でもある木造家屋の伝統を受け継ぎながら、二十一世紀の先端技術による高度な安全性・快適性・利便性を追求したものとすることで、新しい景観づくりの方向性を示すものとなります。

これらシティーゲートがシビックセンターと一体となって、城下町本来の



持つ魅力を輝かせ、市民はもとより観光客などにとっても魅力的な場所となり、亀山周辺再生の拠点となる役割を果たすためには、市全体の顔である歴史的まちなみとの一体的展開を進めることが重要となります。

シティーゲートの施設と機能

シティーゲートは、大きく分け

- ・ 情報交流・物販機能
- ・ 交通センター機能
- ・ 休憩・宿泊機能
- ・ 地域連携・産業振興機能

の四つの施設から成り立ちます。

施設が四つに分かれるのは、施設の用途や規模、面積などで発生する法的な制限から自由度を確保し木造の建物を可能とすることや、西部アクセス道路を絡めた将来的な歩行者の動線などを考えたことによるものです。

情報交流・物販機能

大野の魅力や情報を発信し、この施設を拠点としてまちなかへと歩きはじめる仕掛けや機能を充実させます。

観光をはじめとする、市全体の情報提供や、市やフリーマーケットの週末開催などが考えられます。また特産品販売や地元直売店の出店など、近隣の店との連携をとりながら一体的な運営を図る工夫が必要です。

交通センター機能

交通の面はじめ、生活の面からも便利な施設として、公共交通の発着場や大型観光バスの駐車スペースなど、さまざまな機能を備えます。

休憩・宿泊機能

観光バスで訪れる団体旅行客などの利用を想定した、大型の食事・休憩施設を設けます。

この飲食施設は、郷土料理など大野の食文化を提供する、もてなしの場として機能するものです。

宿泊施設は、仕事などで訪れる人が利用しやすいシングルルームのほか、合宿や研修など、中長期の滞在を想定したものを考えています。

地域連携・産業振興機能

情報交流・物販機能の後押しや、伝

統技能の継承・地元産業育成の中心施設として整備します。

Uターン情報の提供や新しい企業への支援、地元産業の育成などを行うもので、会議室の兼用による効率化や連携を考慮し、商工会議所などを併設します。また、伝統工芸の職人などが実際に製作・販売を行う「出張工房」なども検討しています。

広場（オープンスペース）

施設の中心にできる広場（オープンスペース）に、大野を象徴する記念建造物（モニュメント）を設置します。

広場が、市民の表現活動や憩い、交流の場として機能するよう、音響設備やステージなどイベントに必要な設備などを備えることを検討しています。

これらの空間は「名水」をテーマに整備し、中野用水を生かしたせせらぎの道や噴水のほか、新堀川との連続性を持たせることなどを検討しています。将来的には、平成大野屋や旧内山家が



ら中野用水に沿って御清水会館へとつながる散策路なども検討しています。

駐車場は、最大百台程度を確保します。西部アクセス道路により、広場が南北に分断されないよう、回遊性を生み出す仕掛けや工夫が必要です。

西部アクセス道路計画

市街地西部からまちなかへの交通確保や、福井方面からの観光客などを、スムーズにまちなかへ導くことを目的に整備するものです。

外環状道路とのアクセス向上により中心市街地の利便性を向上し、通勤や買い物など市民の交通動線を確保するほか、観光客など訪れる人たちの交通動線確保も目的としています。

福井方面などから当市を訪れる交通

に対し中心市街地へのアクセスを分かりやすくすることで、訪れる人たちがまちなかへ立ち寄る機会が増えることや、郊外からのアクセスが向上することにより、中心市街地へ新たななにぎわいを生み出すことなどが期待されます。

道路はシティーゲートとの整合性について十分に配慮するほか、亀山周辺から越前大野駅を結ぶまちのシンボルとして、沿道景観への配慮をはじめ、新堀川への親水性や緑豊かな街路樹など、充実した歩行者空間の確保が求められます。また、防災という観点から、災害時の避難道路や、防火植栽帯としての役割が求められます。

基本計画から基本設計へ

市では、この基本計画を土台に、引き続き市民参画と情報公開を根幹において、ハード面だけでなく完成後の管理・運営などソフト面をも見とおして事業を進めていきます。

また、今後の社会経済情勢の変化などに的確に対応できるよう、ローリング方式による見直しを行います。

今後、まずシビックセンターの基本計画をより具体的な内容とする基本設計と実施設計に着手するほか、西部アクセス道路の都市計画決定に向け取り組み予定です。

シビックセンターは、平成十四年度と十五年度で基本設計・実施設計を行

い、順調にいけば平成十六年度着工、十七年度末完成の見込みです。

西部アクセスは、平成十五年度に都市計画決定を受け、十七年度事業採択となるよう目指します。

シティーゲートは、平成十八年度以降の着工となる見込みです。今後、関係団体との協議と並行して、国・県の補助メニューの精査や民間活力の導入などさらに内容を詰めていく予定です。

亀山周辺整備事業は、市街地の再生だけではなく、市全体の底上げを図る重要プロジェクトです。この整備により、一帯が市民にとって町づくりの夢と希望に満ちた空間となり、豊かな日常における心のよりどころとなることを目指します。四百二十年あまりの歴史を持つ城下町を未来へと継承する百年の大計として、今後も長期的な視野に立って進めていきます。



自然体験や学習の場へ活用

真名川 水辺の楽校

安全な水辺の創出

九頭竜川をはじめ真名川や清滝川、赤根川などが合流する大野盆地の北部周辺には、自然の力で作り出された大きな中州や、アシを中心とした植物など、豊かな自然が残っています。

市ではこれまでに、真名川下流域で、健康保養施設「あっ宝んど」や「大野市下水処理センター」など

「水」に関連する公共施設の整備を進めてきました。

そして今回、これらを含む真名川下流域への水辺環境の整備などについて国土交通省へ申請を行い、平成十三年一月に「水辺の楽校プロジェクト」として登録を受けました。この「水辺の楽校

真名川に関する資料を募集

真名川水辺の楽校推進協議会では、真名川に関する資料を募集しています。

水辺の復元イメージにつなげるため、昭和20～30年代ごろの地図や写真などを考えていますが、そのほかにも参考となるものを広く募集します。

提供いただいた資料は、返却を希望する場合は一定期間終了後に返却します。もしご提供いただける場合は、計画策定後に市で管理を行います。皆様のご協力をお願いします。

問い合わせ・提供先

市役所建設課河川係

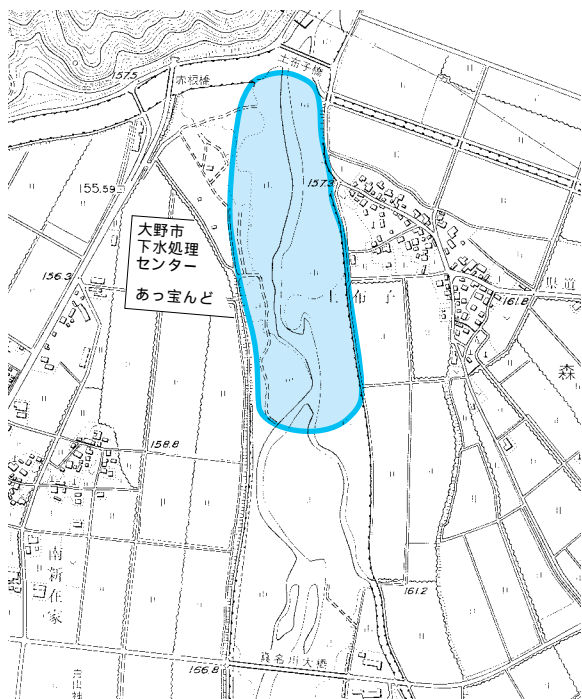
(☎66・1111 内線343)



プロジェクト」は国土交通省が平成八年度から、屋外で遊ぶことや集団で遊ぶことが減ってきているといわれる現代の子どもたちに、身近な自然空間である河川を自然体験や学習の場として活用してもらうため、安全な水辺の創出を目的に進めているものです。

真名川の魅力を

平成十三年十月から「真名川水辺の楽校」をどのように進めていくかなどにつ



「水辺の楽校」の対象区域

いて、学識経験者や学校関係者、地域の代表や行政関係者など二十三人で、「推進協議会」と「研究会」を設け検討を重ねてきました。そして「真名川水辺の楽校」が目指す基本理念を『ふるさとの川・真名川の魅力ある水辺の復元』としました。

これは、かつて真名川にあった豊かな水辺を取り戻し、豊かな水辺を知らない世代にも、そのすばらしさを伝え、だれもがふるさとの川・真名川を誇れるようにすることを目標とするものです。そして、基本的な考え方として、
・生物がすむ場にしよう
・ふれあう、遊ぶ、学ぶ、育てる場にしよう
・安心で豊かな場にしよう
の三つをまとめました。

まず情報収集から

「真名川水辺の楽校」の実現に向けて、まず復元イメージをつかむため、資料収集やアンケート調査などを行う予定です。これらの情報などを整理、検討し「真名川水辺の楽校基本計画」の策定に役立てていきたいと考えています。

今後、子どもたちや地域の人たちが、自然と身近に触れ合うことのできる安全で魅力ある水辺を目指して進めていきます。

6月16日 市長・市議補欠選挙

市長の任期満了（七月六日）に伴う市長選挙と市議会議員の補欠選挙（平成十四年四月十九日現在、一人欠員）が、次のとおり行われます。

選挙日程

告示 6月9日①
立候補受け付け 6月9日①
午前8時30分～午後5時
立候補予定者説明会
5月20日②午後1時30分～

市役所大会議室
投票 6月16日③午前7時～午後8時・市内25投票所
開票 6月16日③午後9時20分～有終会館

不在者投票

日時 6月9日④～15日⑤午前8時30分～午後8時
場所 市役所別館1階、不在者投票所
その他 入場券が配布されている場合、持参ください。

一般的な不在者投票
投票日に投票所での投票ができない場合、選挙の告示日から投票日の前日まで不在者投票ができます。
他市町村の選挙管理委員会

での不在者投票

仕事などで長期間他の市町村に滞在し、投票日に投票所へ行けない場合、滞在先の市町村の選挙管理委員会で投票できます。

この場合、投票先から市選挙管理委員会まで投票用紙の郵送に日数がかかります。余裕を持って、早めに投票を行ってください。

郵便投票制度のお知らせ

身体障害者手帳の交付を受けている人で、重い障害のために投票日に投票所へ行くことが困難な場合は、在宅のまま郵便による不在者投票ができます（ただし、自分で文字が書ける人に限ります）。

この場合、あらかじめ郵便投票証明書の交付を受ける必要があります。なお投票用紙などの請求期限は、投票日の四日前までと定められています。希望する人は、早めに郵便投票証明書の交付を申請することを勧めます。

問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局（☎66・1111 内線361）

市の人事異動

四月一日付けで、総数七十四人の人事異動を行いました。内訳は、部長級二人、課長級五人、課長補佐級七人、係長級八人、主査級十二人、一般職員十五人、業務職員十四人で、内新採用が十人です。

部長級

【市長部局】 市民福祉部長（兼）福祉事務所長・野路雅博 建設部理事下水道課長事務取扱・山本利率
【県庁へ帰任】 永田康寛

課長級

【市長部局】 産業経済部 林務課長・羽生達夫 商工観光課長（兼）産業文化展示館長・辻忠信
【教育委員会】 社会教育課長（兼）文化振興室長・文化会館長・松田輝治
【議会事務局】 議会事務局長・谷脇一治
【監査委員事務局】 監査委員事務局長・山内武雄

係長級

【市長部局】 総務部 総合政策課企画調整係長・斉藤嘉代 建設部 建設課道路係長・乾川和則 下水道課農業集落排水係長・帰山寿章
【教育委員会】 学校教育課指導係長・中村吉孝 小山幼稚園教頭・辻久美子 阪谷幼稚園教頭・松田ゆり子 文化振興室文化係長・坂井八千代 下庄公民館長・桐林克己

新採用

【市長部局】 総務部 税務課・吉村貴信 市民福祉部 市民課・永田恵理 北部保育園・常見佳奈恵 六呂師保育園



新採用職員に辞令交付

退職者（3月31日付）

【一般職】 阪井康雄（議会事務局局長） 宮西弘司（林務課長） 指岡勲（監査委員事務局局長） 安川照子（小山幼稚園教頭） 井部武子（富田幼稚園教頭） 西森英子（阪谷幼稚園教頭）
【業務職】 宮西清敦雄（清掃管理室） 山下精治（建設課） 中道栄（庶務課） 中兼富貴栄（乾側小学校） 横山久一郎（尚徳中学校）

ぐるーぷ登場

大野手技グループ 「もっこ」の会

市内外の人たちと交流し、技の伝承と大野のイメージアップを図ろうと平成十三年に結成。メンバーは五十歳代から七十歳代の約二十人です。これまで平成大野屋や元町会館を会場に技の実演や作品の展示を行うほか、各種イベントへも積極的に参加。依頼を受け、学校や公民館へ教え

皆さん「もっこ」という言葉を知っていますか。もっことは土などを運ぶ運搬道具を指す言葉ですが、大野では「強情」や「頑固」「一本気」などの性格を表す言葉としても使われています。

大野手技グループ「もっこ」の会は、わら細工や木工などの伝統工芸を始め、手芸、紙細工などの「手技」に、強いこだわりを持つ人たちのグループです。

「ものが少なくなってきた感じがしますね。このような活動を通して、一人でも多くの人に手作りの良さ、楽しさを実感してもらえたらうれしいですね」と事務局の稲垣香織さん。

会長の三宅嵩さんは「もっことたくさん会員が増え、大野に伝わる

いろいろな技術を、次の世代に伝えていけたらいいですね」と笑顔で話していました。会に興味のある人は、事務局の稲垣香織さんへ（☎66・4341）まで連絡してください。

今年度は活動拠点を新たに七間通りに移し、十月までの日曜日に技を実演。またそのほかにも、一日体験講座の開催や手作り作品を募集し表彰するイベントなど、新しい企画もさらに練っているそうです。



市民のページ



今月のスナップ



風船をどうぞ
(さくらまつり)

「広報おの」では、皆さんの活動や意見など、さまざまな内容を募集しています。あなたも紙面に参加しませんか。

〒912-8666 大野市天神町1-1 市役所秘書広報課広報広聴係（☎66・1111 内線440）
yamabiko@city.ono.fukui.jp

ちょっとおしえて

ごみ？ゴミ？ 古紙の回収

今回は古紙回収について紹介します。

古紙の分別は、再生される紙の種類によって、大きく三つに分かれます。

段ボールと新聞紙、そしてその他の紙です。

市内で集められた古紙類は、この三つに分けて、リサイクル工場へと送っています。

段ボール
よく「段ボール」と一緒に「ボール紙」が混ざっていることがあります。「ボール紙」はリサイクルの方法が異なるため、「その他の紙」となります。ご注意ください。

新聞紙
新聞紙に折り込まれてくるチラシなどは、「その他の紙」となります。新聞紙とは別にしてください。

その他の紙
段ボールと新聞紙以外の紙は、すべて「その他の紙」と

なります。たとえば普通紙やボール紙で出来たお菓子の空き箱などもここに含まれます。（例 チラシ・ノート・雑誌・本・菓子箱・ボール紙・はがき・封筒・包装紙・紙袋・紙箱・名刺など）

ただし、セロテープなどの粘着テープやホットキスなどの金具類などはできるだけ外してください。また、窓付き封筒のビニールは必ず外すようお願いいたします。

紙ですべてできているものでも、紙コップのようにワックス加工されたものや、写真など特殊な加工をされたものなどはリサイクルできません。このようなものについては、燃やせるごみと一緒に出すください。（例 紙コップ・感熱紙・カーボン紙類・写真・ビニールコート紙など）

古紙を資源ごみとして出すときは、紙ひもなどで縛って出して下さい。名刺や菓子箱などの小さい紙については、紙袋などにまとめると出しやすいと思われます。この場合、紙袋の持ち手が紙のものでお願いします。

限りある資源を有効に効果的にリサイクルするため、ご協力をお願いします。

お問い合わせ先 クリーンセンター（☎65・6120）

（10）

よんでみねの 図書館の本



『心を貫かれて』

マイケル・ギルモア：著
村上 春樹：訳
文藝春秋 刊

今回は、殺人事件を題材にしたノンフィクション。

10年以上も死刑が行われず、半ば廃止のようになっていた1970年代のアメリカで、自ら銃殺刑を望んだ殺人犯の話です。彼の弟が、16年後に真相を書きました。

「兄がどのようにして殺人者になったか」という過程を150年前の先祖にまでさかのぼり検証しています。

家族の愛、暴力、人間について考えさせられる一冊です。

こんにちは

五條方の前川諭さん（七十歳）は、昨年の秋からJR越前大野駅の待合室に、盆栽を飾っています。
モミジやサクラ、ウメなどの木や花を、月二〜三回のペースで交換しています。
「昨年、用事で駅を利用したとき、待合室の雰囲気が少ない感じがしたんですよ。それで自分の家にある盆栽でも飾ると、少しはにぎやかな感じがするんじゃないかと思い、駅員さんに相談したのが始まりですね」



ポランティアで盆栽展示

前川 諭さん（70歳・五條方）

「盆栽は、まったくの我流です。好きな格好に枝を刈り込むなど、気楽に楽しんできたものばかりなので、これまであまり人に見せたことがありませんでした。でも、待合室に飾り始めてから、人に見られることを意識するようになり、手入れなどは以前よりも時間をかけて丁寧に行っています。」

「寂しく感じたんですよ。それで自分の家にある盆栽でも飾ると、少しはにぎやかな感じがするんじゃないかと思い、駅員さんに相談したのが始まりですね」
前川さんの盆栽歴は、30年以上。自宅の畑では、近くで採取してきた木や花を五十種類以上も育てています。
「盆裁は、まったくの我流です。好きな格好に枝を刈り込むなど、気楽に楽しんできたものばかりなので、これまであまり人に見せたことがありませんでした。でも、待合室に飾り始めてから、人に見られることを意識するようになり、手入れなどは以前よりも時間をかけて丁寧に行っています。」

「車の運転が出来ないので、なかなか駅まで様子を見に行くことができません。しかし、駅員さんや売店の人が、電話で様子を知らせてくれるほか、定期的に水やりをしてくれるので、とても安心です」とこやかに話す前川さん。今月はボタンを飾る予定だそうです。

おおのっこりぽーと!!

「大野の水はおいしいぞ！
～私たちは水調査隊～」
有終西小学校5年生



今月から始まった新コーナー！今回は有終西小学校の「おおのっこ」を紹介します。
西部児童センター横にある新堀川の看板。これは昨年の「総合的な学習」の中で、子どもたちが立てたものです。
「一・二年生のとき「大野のまち」を学んだ子どもたち。三年生では「朝市」をテーマに学習を進めました。
その中で、「どうして大野の食べ物おいしいのだろう」という疑問が生まれ、その理由を「水がおいしいから、食べ物おいしいんだ」と考えるようになりました。
そこで四年生では「水」をテーマに学習を進めました。しょうゆや豆腐、こんにやく





明治の大火忘れず訓練

明治21年の大野町大火を教訓とした市大火記念日の4月8日、エキサイト広場周辺で、春季消防総合訓練が行われました。訓練には消防署員や消防団員ら約350人が参加。はしご車や救助工作車、県の防災ヘリなどが出動し、救助訓練や放水訓練などに取り組みました。

県外客へ越美北線PR

越美北線を利用して大野を訪れる県外の人を対象に、4月から大野市観光利用券とイラスト観光マップを無料で配布しています。これは市とJR越前大野駅鉄道部が協力して行っているもので、観光施設の入館券など2000円相当の観光利用券と記念スタンプが押せる観光マップを配るものです。大野を訪れる知人に、ぜひ越美北線の利用をお勧めください。



天文ファン大集合

全国の天文関係者らが集う「第32回^{すい}彗星会議」が3月23・24日の2日間、県奥越高原青少年自然の家を中心に開かれました。参加者約70人が、研究発表や分科会など熱心に情報交換を行いました。



むらづくりの拠点完成

3月30日、中津川ふれあい会館が落成しました。木造平屋建の建物は、面積約215平方m、総事業費は3,045万円です。今後はむらづくりの活動拠点として、会合や研修などで利用されます。

(株)平成大野屋新体制へ

第3セクター「株式会社平成大野屋」の第3回株主総会が3月30日、有終会館で開かれ6人の取締役が選任されました。また同日に行われた取締役会において、新しい代表取締役社長に佐澤宏嘉さん(本町)が選任されました。



話題の広場

話題の広場

七間通りへにぎわい

3月21日、七間朝市と人力車の運行が再開。



第24回大野さくらまつり

4月3日～18日、亀山公園・有終公園・義景公園。



豊作願って伝統舞

蔵生区に伝わる伝統芸能「里神楽」が4月14日、埴安姫神社の境内で奉納されました。20日には篠座神社でも奉納されました。



身近な話題をお知らせください。

お知らせ 5月



軽自動車税の減免

税務課

左の表のような障害を持つ人が、仕事や通院などで軽自動車（二輪含む）を使う場合、軽自動車税が免除されます。ただし、次の場合は免除されません。

車検証所有者欄の使用氏名が、該当者本人（18歳未満）

申請期限 5月24日（金）
申請・問い合わせ先 税務課
収税係（☎66・1111内線422）

軽自動車税の減免対象となる障害

障害の区分		障害の等級
身体障害者	視覚障害	1級～3級、4級の1
	聴覚障害	2級、3級
	平衡機能障害	3級
	音声機能障害	3級（喉頭摘出による音声機能障害がある場合に限る）
	上肢不自由	1級、2級の1・2
	下肢不自由	1級～6級
	体幹機能障害	1級～3級、5級
	乳幼児期以前の非進行性脳病変による運動機能障害	1級、2級（1上肢のみに運動機能障害がある場合を除く）
	心臓機能障害	1級、3級
	腎臓機能障害	1級、3級
	呼吸器機能障害	1級、3級
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	1級～3級
	膀胱・小腸・直腸機能障害	1級、3級
	知的障害者	療育手帳（A）
	精神障害者	精神障害者福祉手帳1級

いずれも本人が運転する場合です。生計同一者および常時介護者が運転する場合は、対象となる等級が若干異なります。

満の場合は生計を同じくする人の氏名）になっていないとき
すでに、普通自動車税などの減免を受けているとき
持参品 印鑑・障害者手帳・精神障害者福祉手帳・運転免許証

変更になりました 国民健康保険税の納期

市民課

今年度から国民健康保険税の納期が、年4回から年8回に変更されます。

期別	納期	納期限日
第1期	7月	7月31日（水）
第2期	8月	9月2日（月）
第3期	9月	9月30日（月）
第4期	10月	10月31日（木）
第5期	11月	12月2日（月）
第6期	12月	12月25日（水）
第7期	1月	1月31日（金）
第8期	2月	2月28日（金）

なお、口座振替の場合は、納期限日が振替日となりますので、口座残高などに注意してください。

問い合わせ先 市民課係
（☎66・1111内線457）

高齢者職業相談室の移転

商工観光課

高齢者職業相談室の会場が、職業訓練センターから産業文化展示館へ移転しました。これに伴い、これまで上庄・下庄・富田の各公民館や有終会館で行っていた出張相談は終了しました。

また産業文化展示館では、

介護相談員を募集します

よりよい介護サービスに向け、介護保険施設を定期的に訪問し、施設利用者の日常的な不満や苦情、意見など声を聞く介護相談員を募集します。

募集人員 3人

応募資格 下記の～すべてに該当する人

介護保険制度に関心があり、普通自動車免許を持っている人

市内に住む社会人で月2～3回程度、昼間に介護保険施設を訪問できる人

3泊4日程度の県外研修に参加できる人

任期 2年間

応募方法

「高齢者の福祉について思うこと」を400字程度にまとめ、住所、氏名、電話番号を明記し提出（郵送可）

申込締切日 5月15日（水）必着

申し込み・問い合わせ先 高齢福祉課介護保険係

〒912-8666 大野市天神町1-1

（66・1111内線477）

精神障害者の在宅福祉

福祉課

求職活動中の人を対象にした「雇用促進相談コーナー」を設け、情報提供しています。どうぞ気軽に利用ください。開設日時 毎週月曜日（金曜日午前9時～午後5時まで）
問い合わせ先 高齢者職業相談室（☎65・5797）

4月から、ヘルパーが家事などを手伝う「ホームヘルプサービス」を実施しています。費用など詳しい内容については、お問い合わせください。
問い合わせ先 福祉課社会福祉係（☎66・1111内線472）

福祉窓口の変更

精神障害者保健福祉手帳と通院医療費公費負担の申請窓口が、健康福祉センターから市役所に変更になりました。

ホームヘルプサービス

商業統計調査

平成14年6月1日

商業統計調査は、卸売業、小売業を営むすべての事業所が対象となります。

ご協力をお願いします。

経済産業省・福井県・大野市

児童館からのお知らせ

福祉課

土曜日全日開館
 学校週5日制の実施に伴い、土曜日の午前中も児童館を開館します。
 開館日時 毎週土曜日、春・夏休み期間中の月曜日
 ～金曜日、午前8時30分～午後6時まで
 それ以外は、毎週月曜日～金曜日の午後0時～午後6時です。
 休館日 毎週日曜日、休日
 12月29日～翌年1月3日
 放課後児童クラブ
 南部・北部・東部児童センターでは、放課後に小学校低学年の児童を預かる「放課後児童クラブ」を開設しています。
 日時 毎週月曜日から金曜日

児童手当現況届は6月中、再請求は5月中に

支給の対象 義務教育就学前の児童を養育している人
 手当の額(月額) 第1子5,000円、第2子5,000円、第3子10,000円
 支給の時期 請求をした日の属する月の翌月から開始され、支給事由の消滅した日の属する月分で終わります。支給は、2・6・10月に前月分までが支給となります。
 所得要件 児童手当支給には所得制限があります。所得制限額は、年金の種別や税法上の扶養親族数などで変わります。前年度に請求却下となった場合でも、認定される場合があります。5月に再請求手続きすること
 届け出・問い合わせ先 福祉課児童福祉係 ☎66・1111内線475

をお勧めします。
 児童手当現況届 手当を受けている場合、毎年6月中に次の書類を提出する必要があります。提出がない場合、6月分以降の支給が停止されます。
 ・6月1日の状況記載届
 ・年金加入証明書(受給者がサラリーマンなど被用者の場合)
 ・前住所地の所得証明(1月1日に市内に住所がなかった場合)
 支給を受けている人で、所得税にかかる更正の結果、所得額や扶養親族などに変更があると、所得要件を満たさなくなる場合があります。この場合、支給済みの児童手当の返還が必要になることがあります。

市営住宅の入居者募集

都市整備課

募集団地 西里団地
 規格 3K風呂無・トイレ有
 募集戸数 1戸
 資格 一定の収入基準以内で住宅に困っている人
 家賃 月額6,900円
 申込締切日 5月24日(金)
 申し込み・問い合わせ先 都市整備課景観建設係(☎66・1111内線351)

平成14年度の各種助成

越美北線乗車券

対象者 4月1日以降に越前大野駅で、回数券または5人以上で乗車券を購入した市民
 助成額 回数券 越美北線利用区間

の回数券購入費の3割
 ・5人以上の場合 越美北線利用区間の運賃の5割
 申請(印鑑が必要です)
 ・回数券 購入日より1年内に購入した回数券の最終券(表紙)を提示して申請
 ・5人以上の場合 越前大野駅で発行される証明書を提示して申請。(証明書が発行などで駅の窓口が混みあいます。乗車券はなるべく出発日前日までに購入してください)
 申請受付時間 午前9時から午後2時まで
 生ごみ処理機など
 対象 平成14年4月1日以降に、市内で購入した生ごみ処理機やコンポスト容器
 補助額
 ・生ごみ処理機 購入費の3分の2(限度額4万円)
 ・コンポスト容器 購入費の2分の1(限度額5千円)
 申請に必要な書類 申請書・購入した領収書の写し・市税の納税証明書・写真
 チャイルドシート
 対象 6歳未満の子どもに対し1台(ただし、平成13年4月1日以降にチャイルドシートなどを市内で購入した場合に限ります。平成12年4月1日～平成13年3月31日に助成を受けた子どもは対象となりません)
 申請に必要な書類 申請書・チャイルドシートの領収書の写し・市税の納税証明書
 助成額 購入費用の3分の1(限度額1万円)
 申請期間 平成15年3月31日
 月まで(この助成制度は、今年度で終了します)
 低公害車(ハイブリット車)
 対象者 燃料消費の少ない低公害車を平成14年4月1日以降に市内で購入し、新車登録した市民、または市内で事業を営んでいる法人
 助成額 1台につき20万円
 申請 新車登録後30日以内に申請書に自動車検査証・請求書または契約書の写し・市税の納税証明書・住民票または登記簿謄本などの必要書類を添えて申請

先助成以外に「古紙回収団体補助」や「住宅用太陽光発電設備補助」「地下水再利用施設等補助」などの各種助成制度があります。制度の詳細な内容については、問い合わせください。
 問い合わせ先 生活環境課(☎66・1111内線461～463)

市民のうごき

	4月1日現在	前月比
世帯数	11,815世帯	- 37世帯
人口	40,250人	- 134人
内訳	男	- 89人
	女	- 14人
3月中の異動	転入	出生 29人
	転出	死亡 36人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成14年 3月末	平成13年 3月末	比較
総件数	184件	273件	- 89件
人身事故	件数	47件	+ 7件
	死者	3人	+ 3人
物損事故	死者	50人	- 6人
	傷者	137件	233件

大野ええとこ

今年度は奇数月の表紙写真をカラーで紹介します。今回は、空から望む越前大野城、日常なかなか見ることのできない風景ではないでしょうか。現在の城は昭和四十三年八月に再建したもので、その完成を祝い「おおの城まつり」が行われるようになりました。



編集後記

五月二十六日に開かれる「越前大野名水マラソン」マラソン競技ではランナー一人ひとりにドラマがあるように感じます。でもそれは、汗を流した人にしか分からないことなのでしょう。今年も写真班として少しでもドラマを盛り上げたいと思います(養)



北御門の松本眞佐人さん(五十二歳)の宝は、大野市民マラソン大会の賞状です。昭和四十二年の第三回大会「高校生部」で六位に入賞したときのものでした。

大野市民マラソン大会は「越前大野名水マラソン」の昔の大会名で、昭和四十年の第一回大会から昭和六十一年の第二十二回大会まで、この名前が使われていました。松本さんは第一回から昨年まで、選手や競技役員として、ほとんどの大会

89 大野市民マラソン大会の賞状

に参加しているそうです。「初めて出場したのは、高校生のとき。当時のマラソンコースは、市役所前を北に向かってスタートし、市街地を通って、福井方面に向かい、美山町の計石で折り返してくるコースでした。市街地では、沿道からたくさん応援を受け、気持ち良く走ったことを思い出しますよ。また花山峠では、越美

北線を走る汽車の警笛に、驚かされたこともありましたね」

一般向けのマラソン大会が、あまり多くなかったこの当時、この大会で入賞することが、松本さんの目標の一つになっていたとのこと。第五回大会は、大事な就職試験の日と重なっていたのですが、どうしても走りたくて試験を欠席し、大会に出場した思い出があ

るそうです。

「この大会には、本当にたくさんの思い出が詰まっています。最近、順位よりも自己記録を目標にして、マイペースで走っているんですよ。今年もぜひ出場したいですね」と笑顔で話してくれました。



夏も近づくと八夜、野にも山にも若葉が茂る。八十八夜は五月二日。小学唱歌どおり一年中で一番野山が美しく映

える時期である。小さな女の子が手の中に大事そうに何かを持っていた。何を持っているのか尋ねると、開いた両手の中に小さなアマガエルがいた。「道にいたの。踏まれるとかわいそうだから危なくないところへ逃がしてやるの」人間本来の姿はこの子のようにやさしく美しい。生命を大切にできる子は、自分自身も他人も大切にできる。自然は文字を持たないが文字以上に尊いものを直接与えてくれる。「山水蒙」という言葉がある。山から出てくる水は、本来大変美しくきれいなものである。このきれいな水を汚すこともできるし、きれいなまま大きな流れにもできる。蒙はツタカズラが木に覆いかぶさっていることで、この覆いかぶさっているものを取り除き、本来の木の成長を引き出すことだという。山は「徳」を表し水は「知」を表す。徳があつてこそ知は生かされる。大野盆地を取り囲む山々が盛りあがって大きく目に飛び込んでくると、体全体に生気がみなぎる。樹木の緑からなんともいえない心の安らぎを得られる。自然は語らずして人間社会にいるいるなことを教示してくれる。緑いっぱい、自然いっぱいの「郷土大野」を誇りに感じ、「山水蒙」の言葉を定着させたい。自然をまるかじりできるすばらしい町こそ、大野の誇りだといえる(安)